



時おりぼくは

3月14日

Sudden Fiction Project

高階 經啓
hirotakashina

3月14日のおはなし「時おりぼくは」

時おりぼくは知らない人のつぶやきを眺めにいく。

ぼくが好きなのはごく短いつぶやきだ。

そう。ごく短いつぶやき。

読み応えがある連投や、写真がついているのも楽しい。

でもぼくの好みはごく短いつぶやきがずらっと並んでいるものだ。

ほとんどのつぶやきはとりとめもないものだ。

「神保町なう。」「マクドナルドなう。」「二郎で行列なう。」「ラーメン待ちなう。」「店長こわい。」「出て来たっ!」「うわ、多っ! なう。」

文字通り「いま何してる?」だけを律儀につぶやき続ける人がいる。

「バス停なう。」「バスが来ない。」「寒い。」「おーいバスどーなってんだー。」「死ぬー!」「バス停で凍え中なう。」

心に浮かんだことを数秒から数分間隔でつぶやき続ける人がいる。そういう人はついーとの数が10万にせまっていたりする。すごい。

「綾瀬はるかが好きだーッ!」「はあ、すっきりした」「なんか言いにくかったんだよね」

誰にともなく真情を吐露する人がいる。

「おやすみ。」「もう寝る。」「みんな起きてるかーい。」「私はもう寝るよ。」「またつぶやいてるけど、もうほんとに寝る。」

なぜか夜眠る前の時間にいまから眠りにつくことを延々3時間も宣言し続ける人もいる。

中にはそのままその人をフォローすることもある。

つぶやきを読むうちその人のことがとても気になってしまうからだ。

「魔法学校なう」「不思議な鐘が鳴った」「魔女の先生、いかめしい」

今日見つけたのはパリー・ホッターと名乗る、おそらく少年。

「魔法史、できた!」「今度の魔女はかわいい感じ」「変身術、うまくいかなかった」

期末試験か何かを受けているのか。たとえ話だろうか?

「魔法生物、大好き!」「いいかも」「薬草学、終了直前で間違いを直せた!」

すっかりなり切っている。フォロー決定。魔法学校での生活ぶりを知りたい。

ひたすら他人のつぶやきをRTしている人もいる。

RTだけののは、自動で検索してアップするボットなのかもしれない。

そう言えば腰痛部というボットがあったけど、どうなったのかな。

ぼくが腰痛について書くたびRTをしていたなあ。

youtsubuというアカウントも笑えて良かったんだが。

時おりぼくは知らない人のつぶやきを眺めにいく。

いろいろな人がいろいろな場所でいろいろなことをしていろいろなことを考えている。

とりとめもなく流れるつぶやきをながめていると結構楽しい。

「ついったー始めました。」

と、何ヶ月も前に書いたきりツイートがそれっきりになっている人もいる。驚くほどたくさんいる。

彼らは今、何をしているのかな、とふと思う。

今、なにしてる？

彼らに尋ねてみたい。

「やった！やった！」「うれしくて姿現しもできそう！」「入学決定なう！」

パリー・ホッターが書き込んできた。

そうか。入試だったんだ。魔法学校の。期末考査じゃなく。

おめでとう、パリー。いい学校生活、魔法学校生活が始まるといいね。

この先しばらく、ついったーから目が離せなくなりそうだ。

(「ついったー」 ordered by sachiko-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro)

感謝の言葉と、お願い&お誘い

Sudden Fiction Project（以下SFP）作品を読んでいただきありがとうございます。お楽しみいただけましたでしょうか？ もしも気に入っていただけたらぜひ「コメントする」のボタンをクリックして、コメントをお寄せください。ブログへの登録（無料）が必要になりますが、この機会にぜひ。

「気に入ったけどコメントを書くのは面倒だ」と言うそのあなた。それでは、ぜひ「ツイートする（Twitter）」「いいね！（Facebook）」あたりをご利用ください。あるいは、mixi、はてな等の外部連携で「気に入ったよ！」とアピールしていただくと大変ありがたいです。盛り上がります。

※星5つで、お気に入り度を示すこともできますようですが、面と向かって星をつけるのはひょっとしたら難しいかも知れませんね。すごく気に入ったら星5つつける、くらいの感じでご利用いただければ幸いです。

現在、連日作品を発表中です。2011年7月1日から2012年6月30日までの366日（2012年はうるう年）に対して、毎日「1日1篇のSFP作品がある」という状態をめざし、全作品を無料で大公開しています。→[公開中の作品一覧](#)

SFP作品は、元作品のクレジットをきちんと表記していただければ、転載や朗読などの上演、劇団の稽古場でのテキスト、舞台化や映像化などにも自由にご活用いただけます。詳しくは「[Sudden Fiction Project Guide](#)」というガイドブックにまとめておきました。使用時には、コメント欄で結構ですので一声おかけくださいね。

ちょっと楽屋話をすると、7月1日にこのプロジェクトを開始して以来、日を追うごとにつくづく思い知らされているのですが、これ、かなり大変なんです（笑）。毎日1篇、作品に手を入れてアップして、告知して、[Facebookページ](#)などに整理して……って、始める前に予想していたよりも遥かに手間がかかるんですね。みなさんからのコメント、ツイート（RT）、「いいね！」を励みにがんばっていますので、ぜひご協力お願いいたします。

読んでくださる方が増えるというのもとても嬉しい元気の素なので、気に入った作品を人に紹介して広めていただけるのも大歓迎です。上記Facebookページも、徐々に充実させてまいりますので、興味のある方はリンク先を訪れて、ページそのものに対して「いいね！」ボタンを押してご参加ください。

10月からは「1日1篇新作発表」の荒行（笑）を開始し、55作品ばかり書き上げる予定です。「[急募！お題 この秋Sudden Fiction Project開催します](#)」のコメント欄を使って、読者のみなさんからのお題を募集中です。自分の出したお題でおはなしがひとつ生まれるのって、ぼくも体験済みですが、かなり楽しいですよ！ はじめての方も、どうぞ気軽に遠慮なくご注文ください（お題は頂戴しても、お代は頂戴しないシステムでやっています。ご安心を）。

こんな調子で、2012年6月30日まで怒濤で突き進みます。他にはあんまりない、オンラインならではの風変わりな私設イベントです。ぜひ一緒に盛り上がってまいりましょう。

時おりぼくは

<http://p.booklog.jp/book/46334>

著者 : hirotakashina

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hirotakashina/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/46334>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/46334>

公開中のSudden Fiction Project作品一覧

<http://p.booklog.jp/users/hirotakashina>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.